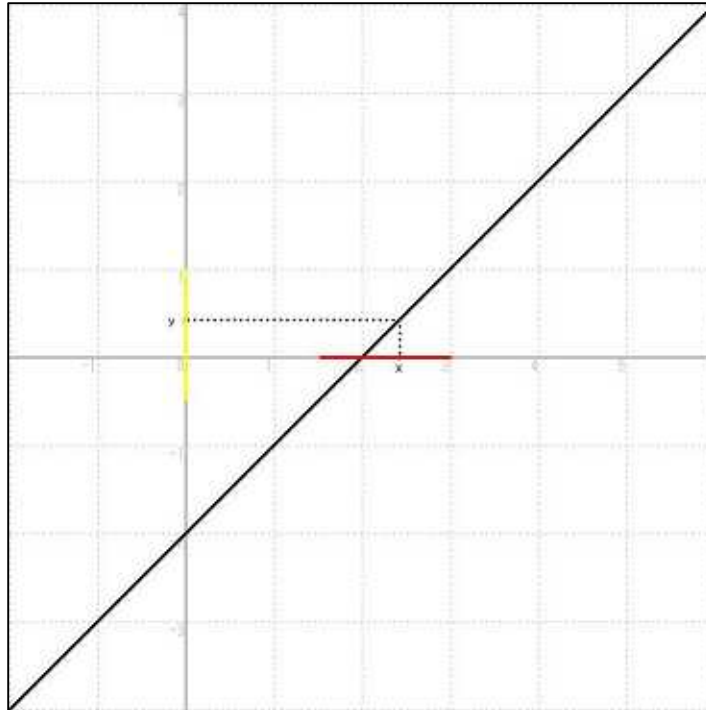


## 「K1p067R3.bas」

1. ファイル名 : Jis Full BASIC  
ユーザープログラム 「K1p067R3.bas」
2. 対応分野 : 啓林館 数学 p67 1 関数(定義域と値域)  
例3 関数  $y=2x-1$  ( $-2 \leq x \leq 3$ ) のグラフと値域
3. 実行 : Jis Full BASIC 起動後, 「開く」 「実行」と操作すると  
(1)  $y=2x-1$  のグラフと  $x=2$ ,  $y=3$  (既定値) の対応関係が表示される。
4. 操作 :



- (1) [ ] [ ] キーで図の  $x$  を左右に移動させることができる。
  - (2) [ S ] キーで定義域の初期値 1 へ移動する。
  - (3) [ R ] キーで既定値 2 (初期画面) へ移動する。
  - (4) [ Enter ] キーで作業を終了する。
5. 目的 :
    - (1) 定義域に対する値域を視覚的に理解させる。
    - (2)  $y$  軸上への影の集まりであることを認識させる。
  6. 利用時期 :
    - (1) 教科書導入時  
「関数  $y=x^2$  において,  $x$  の変域が アイ  $x \leq 1$  のとき,  $y$  の変域は ウ  $y \leq 9$  である。」  
(アチーブメントテストより) において, アイ の正答率 66% に対して, ウ の正答率は  
ほぼ 55% であり, **グラフをかいて考える** という習慣が定着していないようである。
    - (2) 指導後の追認作業として用いても良い。
    - (3) 関連問題 p67 問 6 「K1p67T006\_1.bas」 「K1p67T006\_2.bas」  
p68 例 5, 問 7 「K1p68R5.bas」 「K1p68T007\_1.bas」 「K1p68T007\_2.bas」 がある。